

避難時の備えはだいじょうぶ??

ここでは最低限必要な非常時の持ち出し品の例を示します。これをもとにあなたの非常用持ち出し品を持ち運びやすいリュックなどにまとめておきましょう。

持ち出し品チェック

に✓を入れて
チェックしましょう

- ☐ 懐中電灯
- ☐ 予備電池
- ☐ 携帯型ラジオ
- ☐ 携帯電話



- ☐ 水(1人1日3リットル)
- ☐ ライター
- ☐ 非常食
- ☐ 缶切り・ハサミ



- ☐ 常備薬
- ☐ マスク
- ☐ タオルティッシュ
- ☐ 生理用品
- ☐ 石鹸・歯ブラシ



- ☐ 衣類(肌着類も)
- ☐ 雨具
- ☐ 軍手
- ☐ タオル・バスタオル



- ☐ お金・財布
- ☐ 保険証
- ☐ 通帳・印鑑
- ☐ 筆記用具
- ☐ 免許証



ちょっと意外な便利なもの

ラップ

食器にかぶせて使うことで、皿洗いの水を節約できる。

ビニールのゴミ袋

段ボールに入れてトイレや貯水タンクにも利用できる。

災害時は電話がかかりづらくなります 災害用伝言ダイヤル「171」を活用しましょう!!

伝言の録音のしかた

171→1→0294→自宅の電話番号→1#→(録音をする)→9#

伝言の間きかた

171→2→0294→自宅の電話番号→1#→(伝言を聞く)→9#



※災害用伝言ダイヤルは携帯電話からでもかけることができます。

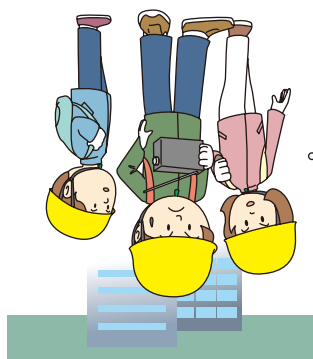


- 助け合いの心が大切
力を合わせて消火・救出・救護活動。
- 水・食料は蓄えているもので
3日分の飲料水と食料を備蓄しておく。
- 壊れた家には入らない
無理をしない。二次災害を起こさない。
- 災害情報・被害情報の収集
引き続き余震に注意

発生3日くらい

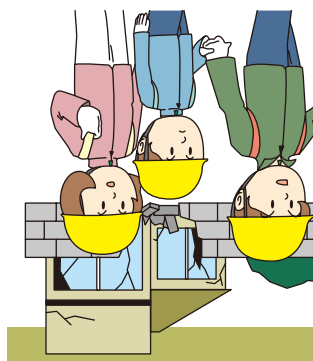
発生数時間

発生10分



- 正しい情報をつかむ
ラジオや防災無線(市役所)の情報を聞く。
- 電話はなるべく使わない
緊急電話が優先。安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難しましょう
ガスをしめ、エレベーターを降りて避難。

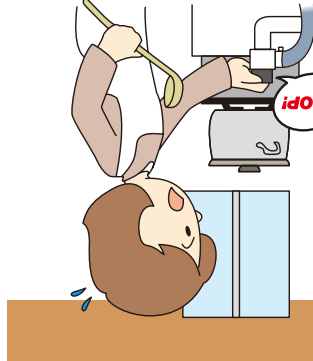
発生5分



- となり近所に声をかける
けが人・行方不明者の確認、救出・救護。
- 近所に火が出ていたら初期消火
大声で知らせる。
- 余震に注意
火災警報を鳴らす(風呂の水をためおきしておく)。

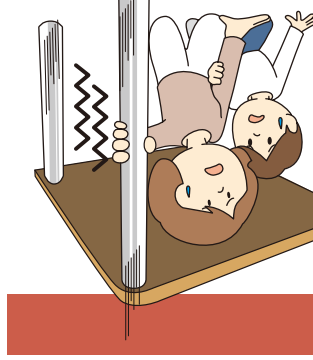
余震に注意

発生3分



- 火元を確認する
火が出たら落ち着いて初期消火。
- 家族の安全を確保する
倒れた家具などでケガをしてはいないか。
- 靴をはく
室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。

発生1〜2分



- まず身を守る
机の下などへ。慌てて外へ飛び出さない。
- すばやく火を消す
ただし、危険が伴うので無理はしない。
- 脱出口を確保する
ドア、窓を開ける。

地震発生

大きな揺れは最初の1分間

地震が起きたとき・・・



常陸太田市

地震マップ

わが家の防災メモ

家族で話し合って書き込みましょう

わが家の避難場所

家族の集合場所

家族の名前	生年月日	血液型	携帯電話番号	会社・学校の電話番号

地震発生時のお問い合わせ先 常陸太田市災害対策本部(常陸太田市役所総務部総務課)
TEL 0294-72-3111(代)

緊急連絡先

火災・救急など	119 常陸太田消防本部	0294-73-0119
事件・事故など	110 太田警察署	0294-73-0110
水道の不都合	常陸太田市役所 水道部	0294-72-1230
電気の不都合	(株)東京電力	0120-995-332

平成21年3月作成



- 地震マップで自分の住む地域の危険度を確認しておく
- 日頃から防災訓練に参加して、身体防衛・出火防止・初期消火・救出・応急救護・通報連絡・避難などの方方法・手順を身につけておく
- 自主防災組織をつくり、地域ぐるみで防災活動に取り組む

防災訓練に参加しましょう

日本	震源地	震度	震度最大震度	震度最大震度
平成14.6.14	茨城県南部	震度4	震度4	震度4
平成15.11.15	茨城県沖	震度4	震度4	震度4
平成17.2.16	茨城県南部	震度5弱	震度5弱	震度5弱
平成17.10.19	茨城県沖	震度5弱	震度5弱	震度5弱

県内に影響を及ぼした主な被害地震



- 新聞・テレビ・ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく
- 地域・市役所・消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく

過去の地震の教訓に学びましょう



- 避難に備えて入りっぱなしの車を準備しておく
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく
- 食器棚や窓ガラスなどは、ガラスの飛散防止措置をしておく
- クローゼットや冷蔵庫は転倒しないように固定しておく

ケガの防止対策に日頃から心がけましょう



- 非常用持ち出し品は、置く場所を決めておく
- (懐中電灯・ラジオ・常備薬・衣類・飲料水・食料・貴重品など)
- 飲料水や食料は3日分程度用意しておく
- (水は1人1日3リットルを目安に)

非常用持ち出し品の備えを万全にしましょう



- 地震が発生した時にすぐやるべきことを決めておく
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく
- 家族が離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく
- 普段のつき合いを大切に、となり近所との協力体制を話し合っておく

家族での話し合いが大切です

地震は突然おそってきます。日ごろからできる限りの備えをしておくことが大切です。

地震対策を家族で確認してみよう!!